

完全週休2日モデル工事（試行）

- **目的**
- ・工事の工期は土日、祝日及び雨天などの不稼働日を考慮して必要な工期を発注者が算定し設定しているが、建設業界においては4週8休の取得が進んでいない状況
 - ・若年労働者をはじめとする建設関係の担い手確保・育成を進めるため、受注者が安心して完全週休2日を実現できるよう発注者が支援

■ 取り組み内容

	(H27より継続) 完全週休2日実施支援モデル工事	(H28新規:工期調査型) 完全週休2日実現モデル工事
工期設定	積算基準等に基づく	準備期間を77日に増 実工期の割増率の引き上げ等
入札段階	工期の設定根拠を 「見積もり参考資料」で提示	同左
契約後段階	施工条件確認部会※1、ウィークリースタンス※2、工程調整部会※3、ワンデーレスポンス、代休ルールの設定	同左
成績評価	評価もペナルティも無し	実現できた場合に高く評価、ペナルティ無し
試行数	H27:4件 H28:5件程度	H28:5件程度

準備日数

過去の工事の準備期間を実績に、準備期間中の土休日を考慮して77日に設定(約2倍)

実工期の割増率

最新の暦と気象状況により割増率を見直し

新潟 1.8 → 1.9

富山 1.8 → 2.0

金沢 1.9 → 2.0

作業所要日数100日の一般的な工事の例

雨天休日が10日(1割)増

$100 \times 1.8 - 100 = 80$ 日

$100 \times 1.9 - 100 = 90$ 日

+10日

その他、工事円滑化推進会議等の日数として6日を加算

《見積参考資料》(例)

1. 計算条件: 契約予定日 平成28年8月22日(月) 作業所要日数100日
2. 工期設定: 本工事の工期には作業に要する日数に加え、休日の他全土曜日等の作業不可能日数、準備・後片付の日数を見込んでいる。
全体工期 = 準備 + 実作業日数(作業所要日数 + 作業不可能日) + 後片付け
(1) 準備日数: 77日
(2) 実作業日数: 190日(作業不可能日数のうち、土日・祝日は63日)
(3) 工事円滑化推進会議等: 6日
(4) 後片付け日数: 20日
全体工期: 293日
3. 工期: 平成28年8月23日(火) ~ 平成29年6月5日(月)
(契約の翌日より293日間)

※1: 施工条件確認部会

契約後速やかに発注者が受注者に対して最新の施工条件を説明する取り組み

※2: ウィークリースタンス

受発注者間のルールを定め仕事の進め方を改善する取り組み

(月曜日を依頼の期限としない、水曜日は定時退庁、金曜日に業務を依頼しない)

※3: 工程調整部会

工事のクリティカルパスを受発注者間で共有する取り組み

